

幸手市立吉田小学校 令和6年度 授業時数特例校 実施計画

○授業時数特例校制度とは

学校又は地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するための特別の教育課程を編成することを認める制度。

○特例授業の時間数

学年	授業を削減する教科と時数	授業を増加する教科と時数
第3・4学年	国語 16時間 算数 10時間 音楽 3時間 図工 6時間	総合的な学習の時間 35時間
第5・6学年	国語 10時間 算数 11時間 音楽 4時間 図工 5時間 家庭 5時間	総合的な学習の時間 35時間

○特例授業で行う学習内容

吉田第一小学校と吉田第二小学校が統合され、現在の場所に「吉田小学校」が設置されたのが1984年4月。それから月日が流れ、今年が40周年の節目にあたる。そこで、「吉田小学校」についての学習を行う。吉田小学校の歴史や特色について調べ、考える。そして、その学習の成果を40周年記念式典において発表するとともに、自分たちにできることを提案し、記念式典を盛り上げる、祝う気持ちを高めていく。

○この特例授業で育てたい力

※問題を発見し、解決していく力

現在の社会は、少子高齢化、課題が山積している。子供たちは、予測不能のこの社会を自らの力で乗り越えていかなければならない。そこで、PBL型の授業を行うことで「問題を発見し、解決の見通しをもって計画を立て、調査・研究をし、まとめて発表をする」力を育てる。問題発見力、問題解決力、思考力、判断力、表現力を総合的に育てていく。

※郷土を愛する心と未来を切り開く力

本校の学区は、通勤・通学の便が決してよいわけではないことから、生まれ育った地域を離れた生活を選ぶ人も多い。そこで、「郷土」を題材にした学習を行うことで、たとえ地域を離れたとしても、自らの力で、明るい未来を作り、地域に誇りを持ち、地域を支える気持ちをもった子供たちを育てていく。